

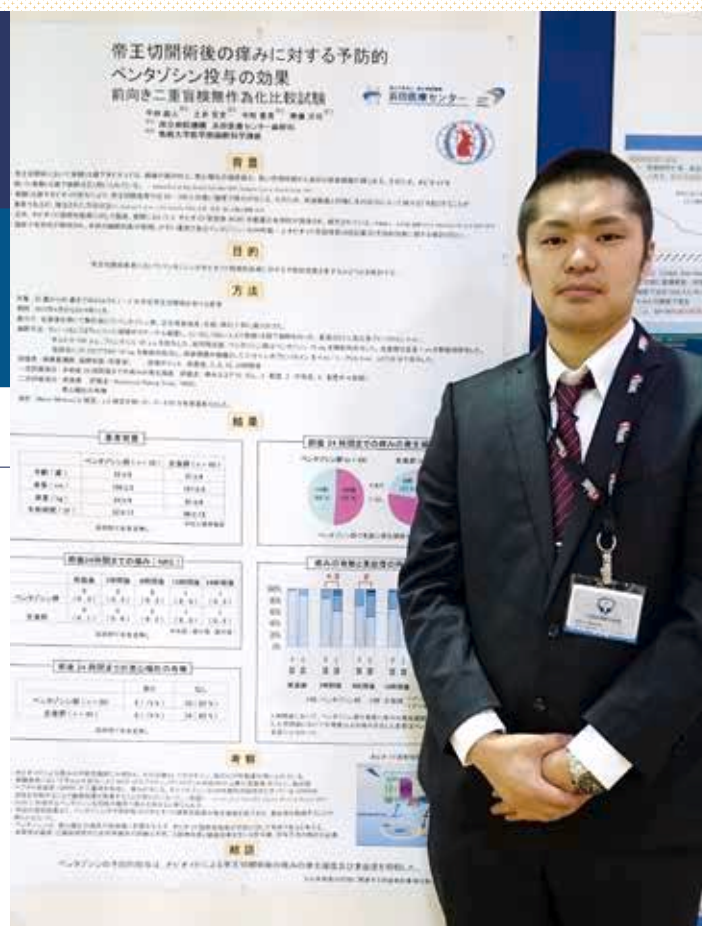
日本麻酔科学会 第62回学術集会 発表報告

麻酔科 平林 政人

2015年5月28日から30日に神戸ポートピアホテル、神戸国際展示場において日本麻酔科学会第62回学術集会が開催され、同集会で優秀演題として演題発表をさせていただきましたのでここに報告します。

私が発表させていただいた演題は、「帝王切開術後の痒みに対する予防的ペンタゾシン投与の効果について」というタイトルで、帝王切開時に問題となる脊髄くも膜下モルヒネによる痒みに対するペンタゾシンの効果を、前向き二重盲検法で調べその結果についてまとめたものです。本研究自体は、私が浜田医療センターに赴任した2014年2月以前より開始されており、前任の先生からの引き継いでの研究発表となりました。麻酔科部長である土井先生、島根大学医学部麻酔科の齊藤教授、今町先生の御指導のもと学会直前まで修正を繰り返し、万全の体制で当日を迎えることができました。学会発表自体はこれまで幾度もありましたが、優秀演題に選出されるのは全演題の10%未満であり、しかも日本麻酔科学会という国内最大の全国学会という場で、文字通り人生で1回あるかどうかという大舞台に緊張と興奮が入り混じった、不思議な気分でした。発表は無事に終わり、懇親会でのお酒は一段と美味しいものでした。

このような素晴らしい機会は、普段からの土井先生の臨床研究に対する高い意識から生まれた必然のもの



と感じました。臨床業務である手術麻酔は安全性の高さや優れた薬剤の登場で、時として単調なものになりがちです。そのような日々の麻酔において、当然のように起こる事象に疑問を抱き、実証することが患者様にとってよりよい新たな麻酔方法につながる唯一の方法であることは自明です。しかしそれを実際に行うことは非常に負担が多く、簡単ではありません。

今回の学会発表は、優れた臨床研究はしっかりと評価されるということが再認識でき、今後の私の臨床医としての意識に対しても大きな影響のあった発表となりました。このような素晴らしい機会を与えてくださった指導医の先生方、手術室スタッフ及び医療事務の方々、そしてなによりご協力して下さった患者様方に感謝申し上げます。

平成27年度 市民公開講座

足の血管の病気 ~心臓との関係~

講師／浜田医療センター 循環器内科医師 松田 晋

日時／平成27年11月18日(水) ※第3水曜日 18時～19時
場所／浜田医療センター 2階総合研修センター

●お問合せ／浜田医療センター管理課(0855-25-0505)

みなさんは日常の外出やウォーキングの最中に足の痛みや、しびれを感じることはありませんか？少し休むと治まるが、歩き始めると再び痛み出すといったものであれば「間欠性跛行」かもしれません。その間欠性跛行の原因となる足の血管の病気と、心臓との非常に深い関連についてお話しします。